記者発表資料

平成24年3月 7 日
国土交通省　東北地方整備局
新庄河川事務所

東日本大震災を教訓とした「冬期間における震災対応防災訓練」の実施について

～震災の教訓から積雪時における実践訓練を行い、震災や出水に備えます～

新庄河川事務所では、東日本大震災から一年の節目となる 3 月 11 日を前に、積雪期に発生した東日本大震災を教訓に積雪の一番多いこの時期に総合防災訓練を実施します。

これまで東北地方整備局管内において、積雪による影響を考慮した防災訓練の実績がないことから、積雪による点検が難しい状況や停電による機器停止を想定した訓練を実施するものです。本訓練では、河川・砂防施設の迅速かつ効率的な状況把握手法として、CCTVカメラやスノーモービルを利用したより実践的な訓練を行い、積雪期の震災と融雪に対する出水に万全を期すものです。

1. 実施日時：平成24年　3月　9日（金）9：00～12：00
2. 訓練想定
   ・震源：宮城県内陸部、震源の深さ約 20km、地震の規模M7.0
   ・震度：山形県内全域震度5強
3. 訓練実施場所：　新庄河川事務所　2階災害対策室
4. 主な訓練内容
   ①　初動対応訓練
   ②　防災広報訓練
   ③　河川・砂防巡視訓練
      ・　河川・砂防施設の巡視点検
      ・　スノーモービルを利用した雪上巡視（真室川河川防災ステーション）
      ・　CCTVを利用した施設点検

注）CCTVとは「Closed Circuit Television」の略で、空間監視カメラのこと。

※当日の気象状況等により演習が順延または中止となる場合があります。

＜発表記者会：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会＞

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
TEL　0233-22-0251（代表）
副所長(技術)　高橋　孝男　（内線204）
調 査 課 長　安部　剛　（内線351）



スノーモービルを利用した施設点検



CCTVカメラを活用した施設点検

平成24年3月9日（金）積雪期における地震時の巡視・点検訓練
スノーモービル運転訓練経路



◆スノーモービル訓練経路（赤点線）
①10時頃　真室川防災ステーション付近の堤防を出発
②途中、真室川第２排水樋管の点検
③その後、堤防の異常の有無を確認しながら、新橋まで移動

スノーモービル運転状況写真



